

平成29年3月5日掲載

「ふくいの名木」

ふくいの名木・名花ブック	P205
名 称	ふじのもりのつばきのぐんせい ----- 藤の森の椿の群生
所 在 地	みなみえちぜんちょうおおたに ----- 南越前町大谷
見 頃	—
記 事	<p>南越前町大谷の集落背後の斜面にヤブツバキが群生している。この地は、大規模な活断層（甲楽城断層）の直下であり、昔から土砂崩落、雪崩、地すべりなどの災害が頻発したところである。住民は集落を守るため、数百年来、樹木の伐採を禁止して、保護林としてきた。その結果、温暖な気候と相まって、木々の合間にヤブツバキが群生するところとなった。ヤブツバキの他にフジ、ケヤキ、タブなどの大木も多い。町指定の天然記念物。</p>
写 真	
問い合わせ先	福井県総合グリーンセンター ☎0776(67)0002